

管内における課題解決を目指して

# 学力向上に向けた取組

八代教育事務所

八代教育事務所では、学力向上と不登校の解消及び未然防止を喫緊の課題と捉え、課題解決に向けた取組を進めています。学力向上に向けた課題解決のために、平成29年度に取り組んだ2つの事例を紹介します。

## 八代管内学力向上事例集

学校訪問等で各学校を訪問すると、学力向上に向けて、校長先生方から取組についてお話を聞いたり、校内を見て回ると随所に素晴らしい掲示物があったりするなど、各学校では学力向上に向けた工夫を凝らした取組が行われています。

そこで、各学校で取り組まれていることを管内の学校で情報共有し、学力向上に活用していただくために、八代管内学力向上事例集を作成しました。内容は授業や学習活動等に関するものから、学習規律、家庭学習、授業参観に関するものなどまで、各学校から167ページにも及ぶ資料を提供いただき掲載しています。

学力向上に向け、各学校で資料集を活用した取組が積極的に行われていけばと思います。



## 八代管内学力向上プロジェクト

平成29年度  
八代管内学力向上プロジェクト

研究の成果(概要)

熊本県

**【視点1】** 生徒が学習の面白さに気付き、授業への関心・意欲が持続できる学習課題・めあての設定

**ポイント!**

② 既習事項を活用した課題解決の場の設定  
実験計画書の作成を通して、既習の知識や科学的な思考力、観察・実験の技能等を本時と関連付けて整理した。このことにより、学んだことの意義を実感し、自らのこれまでの学びを振り返ることができた。

③ 意欲を継続させる学習活動の設定  
1つの班では、6種類の内2種類の水溶液を調べるという**意図的な制限**により、他の班の実験結果を加味しながら水溶液を特定する必然性が生じた。このことにより、すべての水溶液を特定したいという**探究心を**持続させることができた。

④ 学習意欲を高める場面設定  
「八代化学研究所」から6種の水溶液の種類を依頼されたという場面設定に加えて、それぞれの班で計画した実験を通して、自力で水溶液の正体をつきとめるというめあての設定により、課題解決に向けた関心・意欲を高めることができた。

学力向上に資するために学力向上プロジェクトの取組を行っています。小・中学校各6人のプロジェクトメンバーを中心に、それぞれの部会で「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりについて、管内の課題に基づき、研究を行います。公開授業及び授業研究会を通して、管内の先生方に研究の成果を還元しています。研究成果は、写真にあるようなプレゼンテーション資料を作成し、管内すべての学校に配付しました。各学校の校内研修や教育事務所での研修等で活用していきます。